

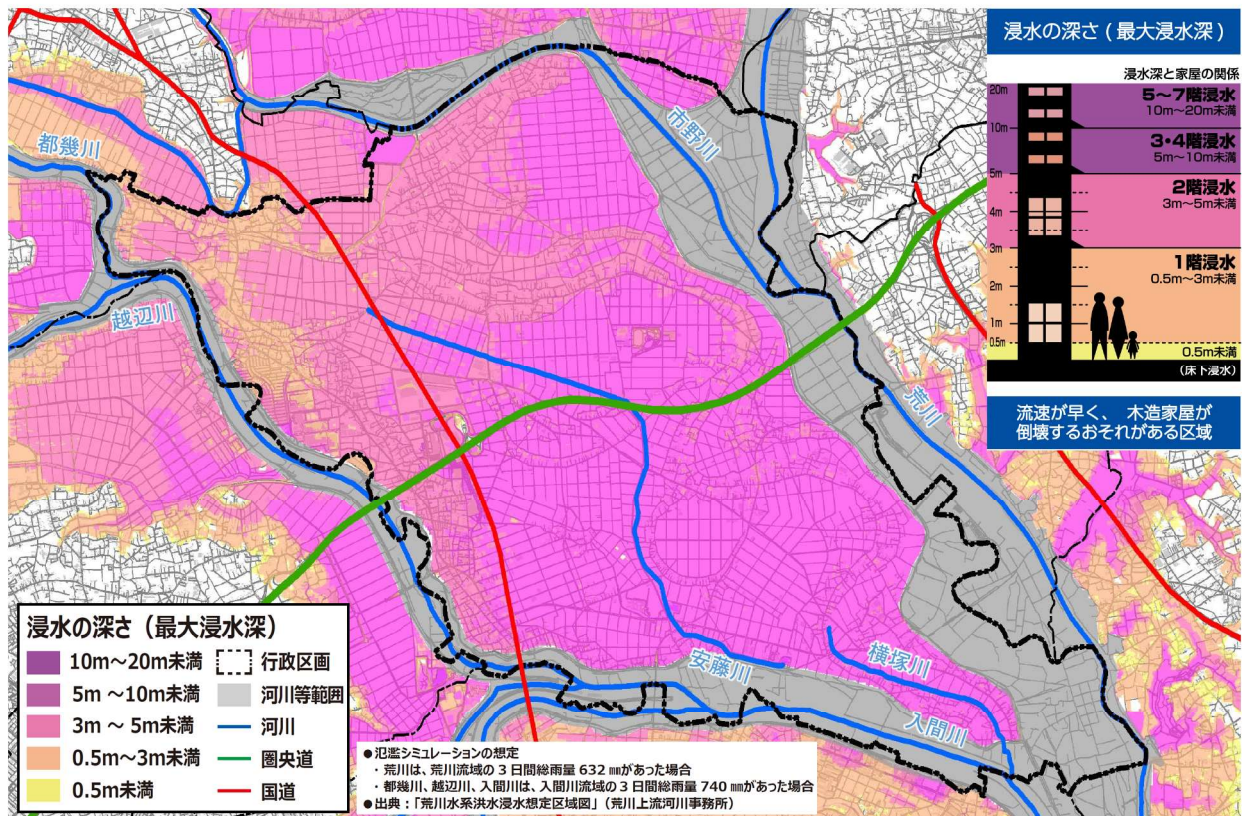
## 7 災害ハザード

### (1) 洪水ハザード

本町は、荒川をはじめ都幾川、越辺川、入間川および市野川など四方を川に囲まれ、平坦な地形をした町です。そのため、過去には台風や豪雨により、家屋の浸水や田畑の冠水などの洪水被害を受けてきた経緯があります。

近年では、全国各地で短時間に100mmを越す降雨がたびたび発生し、これによる洪水被害も多発しています。令和元年東日本台風（台風第19号）により、各河川の上流では500mmを超える大雨が降り、その影響で本町においても住家の床上・床下浸水、一部損壊、業務施設や店舗での浸水などの被害が発生し、町民の約3,000人が町内の避難所へ避難しました。

これらは、地球温暖化による気候変動に起因しているといわれています。また、本町を流れる河川が決壊・氾濫した場合、国のシミュレーション（荒川上流河川事務所浸水想定区域図）によると、本町の全域が浸水すると想定されています。



【洪水ハザードマップ】

※詳しくは『川島町 洪水地震ハザードマップ・ガイドブック』または町ホームページをご覧ください。

### 【これまでの主な水害】

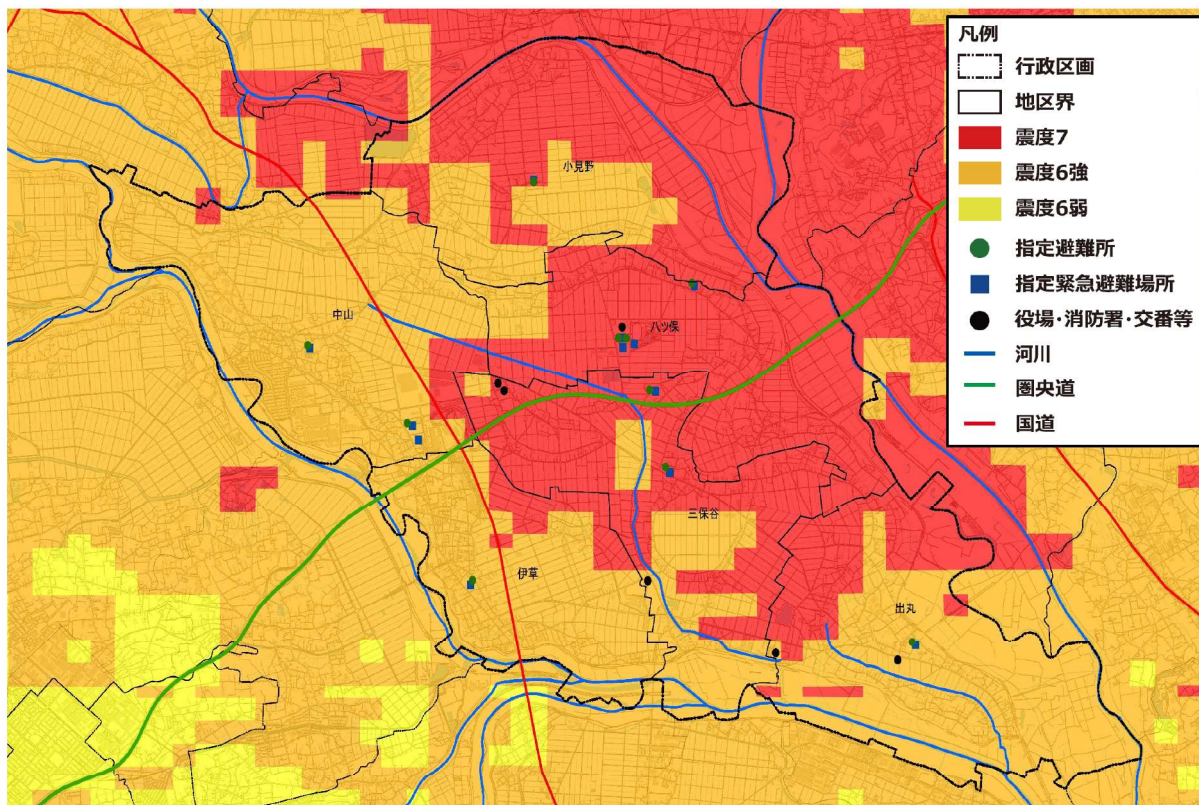
発生年月	風水害名	川島町の被害状況
明治43年 (1910年) 8月	—	堤防総越水、小見野村地内に数ヶ所の決壊、川島領全領泥海と化す
昭和22年 (1947年) 9月	カスリーン台風	釘無40m破堤、曲師40m破堤、浸水831戸、田畑78町歩
令和元年 (2019年) 10月	令和元年東日本台風 (台風第19号)	正直、戸守、上猪地区 住家床上浸水3件、住家床下浸水7件、水害農地面積41,297㎡

資料：川島町 洪水地震 ハザードマップ・ガイドブック

## (2)地震ハザード

本町に大きな被害をもたらした主な地震として、関東大震災、西埼玉地震、東日本大震災があげられます。特徴として、他市町村に比べ人口規模で比較すると、被害を受ける割合が高くなっています。これは、川によってつくられた地盤の弱い土地で、地震時には揺れやすく液状化を起こしやすいことが要因の一つと考えられています。

今後、本町に大きな被害をもたらす想定地震として、関東平野北西縁断層帯地震があげられています。



【震度マップ】

※詳しくは『川島町 洪水地震ハザードマップ・ガイドブック』または町ホームページをご覧ください。

### 【これまでの主な地震災害】

発生年月	地震名・規模	川島町の被害状況
大正12年 (1923年) 9月	関東大震災 規模M7.9、 震源地：相模湾	全壊359戸、半壊353戸、死傷者8名
昭和6年 (1931年) 9月	西埼玉地震 規模M6.9、 震源地：深谷市	全壊2戸、半壊2戸、破損401戸、死傷者1名
平成23年 (2011年) 3月	東日本大震災 規模M9.0、 震源地：三陸沖	住家の屋根瓦の一部破損408棟、その他63件（ブロック塀の倒壊、物置外壁の亀裂及び剥離等）鳥羽井沼の駐車場の一部で液状化、護岸の一部崩落

資料：川島町 洪水地震 ハザードマップ・ガイドブック

## 8 町民意向

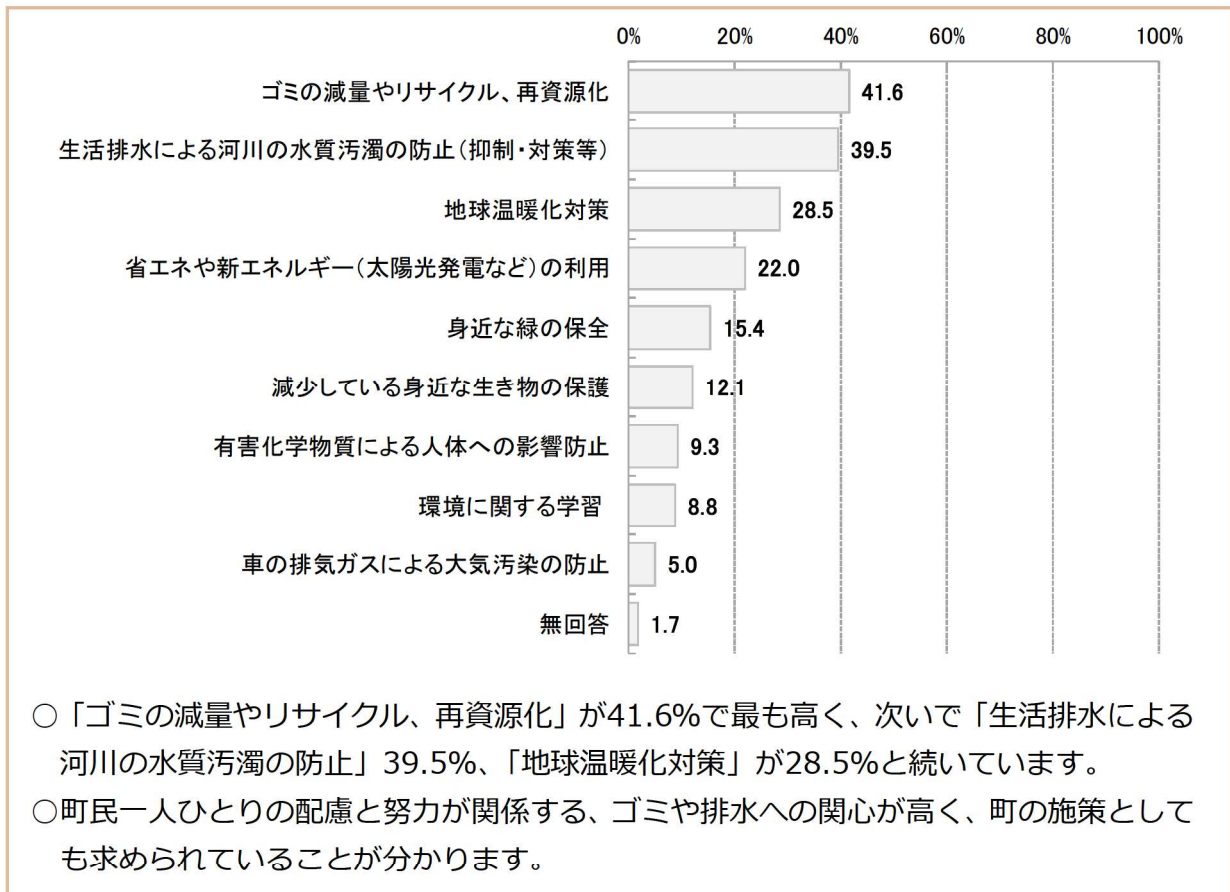
本町では、第6次川島町総合振興計画の策定の基礎資料とすることを目的に、町民アンケートを実施しています。都市計画・まちづくりに関連する町民意向は、以下のとおりです。

### 【調査概要・回収結果】

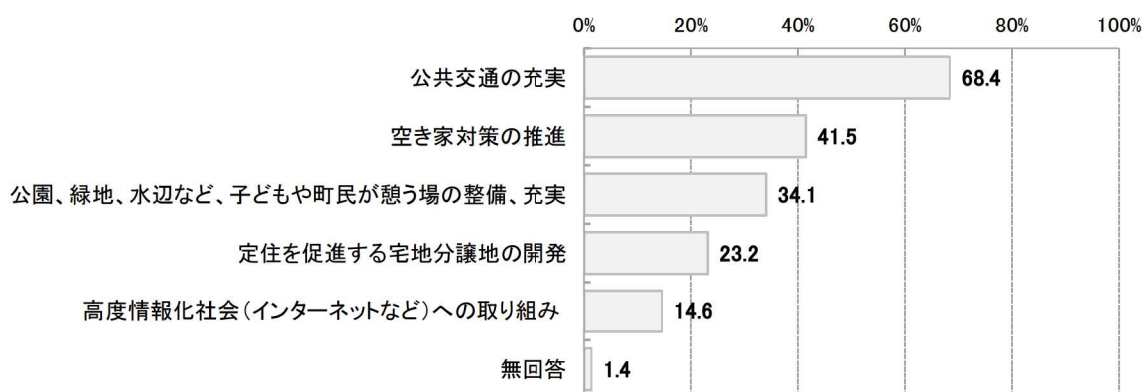
対象者	18歳以上の町民から無作為に2,000人を抽出
実施時期	令和2年（2020年）9月
実施方法	Web回答・郵送回収
回収結果	回収数：863票（Web回答：266、郵送：597） 回収率：43.2%

資料：第6次川島町総合振興計画策定のための町民アンケート報告書

### 【自然環境・生活環境】の取組で、重点的に進めていくべき施策

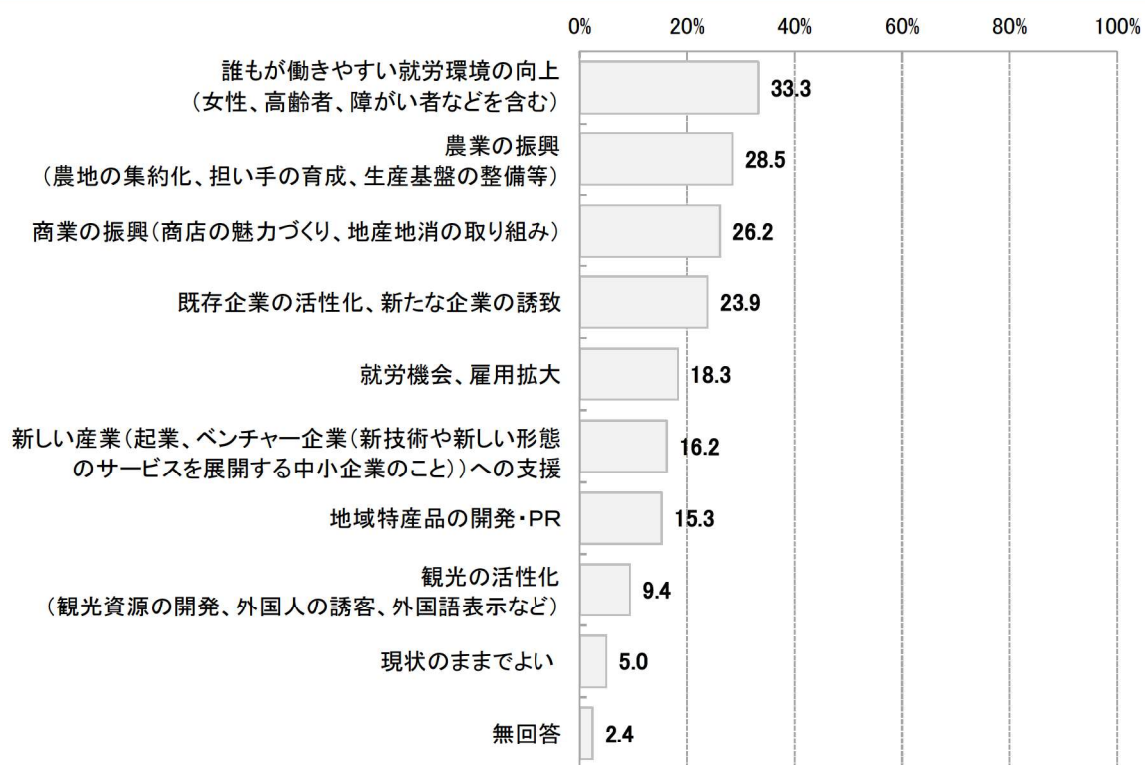


### 【 都市基盤 】 の取組で、重点的に進めていくべき施策



- 「公共交通の充実」が68.4%と最も多く、次いで「空き家対策の推進」が41.5%、「公園、緑地、水辺など、子どもや町民が憩う場の整備、充実」が34.1%と続いています。
- 「公共交通の充実」については、過年度アンケートにおいても70%を超えていることから、重点課題としての対応が求められています。

### 【 産業振興、雇用拡大 】 の取組で、重点的に進めていくべき施策



- 「誰もが働きやすい就労環境の向上」が33.3%と最も多く、次いで「農業の振興」28.5%、「商業の振興」が26.2%と続いています。
- 就労環境・農業振興・商業振興と、町の産業の発展が求められていることが分かります。



## 町民まちづくり懇談会を実施しました

たくさんのご意見  
ありがとうございました！



本計画の策定にあたり町民意見を把握するため、公募委員、川島町かわじま☆未来塾等からなる「町民まちづくり懇談会」を組織・実施しました。

まちづくり懇談会では、全4回に渡ってまちづくりに関する勉強会・ワークショップを行い、まちづくりの課題やアイデアなどについて意見交換をしました。

### 第1回

- 町の都市計画や課題などに関する勉強会



### 第2回

※感染症対策のため、書面開催

【検討テーマ】川島町の課題を捉えよう！～まちのいいところ・わるいところ～

(意見抜粋)

#### ①土地利用

- \* 住宅地、産業地、農地の区分がハッキリしている。
- \* R254 沿道が発展していない。

#### ②道路交通

- \* 自動車の交通の便は最高。
- \* 交通弱者のための公共交通の改良が必要。

#### ③住環境

- \* 自然・田園・小動物・のどかさがあり住みやすい。
- \* 空き家バンクPRなど若年層への定住促進が必要。

#### ④防災・防犯

- \* 防災(治水)対策が進んできている。
- \* 地勢上、水害時のリスクが高い。

#### ⑤緑と水辺

- \* 大半が水田で豊かな自然環境を有している。
- \* 身近な公園・緑地では雑草の繁茂が見られる。

#### ⑥景観・街並み

- \* 夏の青い田んぼ一面の光景は絶景。
- \* 遊休農地、耕作放棄地、空き家が景観を阻害している。

#### ⑦公益施設

- \* きれいな役場ができ、行政系施設がまとまった。
- \* 病院(婦人科・小児科)、宿泊施設、娯楽施設がない。

#### ⑧その他

- \* 川島町を印象づけるスポットがない。
- \* 古くからのコミュニティがある反面、閉塞感がある。

### 第3回

※3グループに分かれてワークショップ形式で意見交換

【検討テーマ】川島町の未来像を描こう！～皆で考えるまちづくりアイデア～

(意見抜粋)

#### まちの将来像

- \* 子どもたちが帰ってきたくなるまち
- \* 災害に強いまち
- \* 自然の中で子育てしやすいまち
- \* 交通で不自由しないまち
- \* 圏央道を利用した観光のあるまち
- \* 多様(人×環境、人×人)な交流があるまち
- \* 開発と保全が両立されたまち
- \* 自然と共生できるまち

#### 私たちにできること

- \* 子育て世代の意見収集
- \* 公共バス維持のため、積極的に利用する
- \* 町のPR
- \* ごみの分別、町内清掃
- \* 花いっぱい運動
- \* 住み続ける
- \* まちづくり活動への参加

#### 行政にやってほしいこと

- \* 子育て世代への支援
- \* 郷土教育
- \* 交通インフラの拡充
- \* 公共施設の集約化
- \* 高等教育機関の誘致
- \* 協働参画の仕組みづくり
- \* 情報発信
- \* 民間管理の導入(PFI)

有意義な意見交換  
ができたね！



### 第4回

- 第3回の結果共有
- 提言書の内容について意見交換

住み続けたくなるまち  
になって欲しい！

都市と農業が調和した  
まちになって欲しい！



まちづくり懇談会での意見は、「川島町都市計画マスタープラン改定に係る提言書」として取りまとめ、町長に提出しました。(提言書の内容は資料編)